

令和7年産 津之輝栽培暦〔結果樹〕

令和7年1月作成

月	旬	生育相	主要管理	防除方法		栽培管理上の注意
				対象病虫害	防除薬剤・希釈倍数	
1	上中下	樹勢回復期	整枝・せん定 防風垣整備 土壌改良資材施用	かいよう病	ICボルドー66D 50倍	○高くなりすぎた防風垣は、受光体勢が悪化して光合成低下を招くため、刈り込みを行う。 ○土壌分析を行い、土壌改良資材を適宜施用する。 ○弱樹勢園は、落葉を助長するため、スプレーオイルの散布を控える。 ○デランフロアブルとコサイド3000の散布間隔は、3日以上空ける。 ○新梢の発生・伸長期には、ミカンハモグリガやアブラムシ類が発生し、新葉を加害する。加害痕からのかいよう病発生を防ぐため、下欄の薬剤一覧から選択してローテーションで散布する。 ○カンキツグリーンング病対策は、欄外「ミカンキジラミの防除」を参照する。 ○防風垣でイヌマキを利用している園はキオビエダシヤクが発生するため、トレポン乳剤4,000倍を幼虫発生初期に散布する。 ○赤衣病発生時は被害枝を早急に除去しゆ合促進にバッチレート塗布する。 ○赤衣病対策も含め、ゴマダラカミキリ成虫を速やかに捕殺し、下草管理も徹底する。 ○スプレーオイルの散布は梅雨明けまでとし、薬害の恐れがあるため高温時の散布は避ける。 ○ゴマダラカミキリによる木くず発見時は、食入痕から針金を用いた刺殺または園芸用キンチョールEを注入する。 ○昨年ハダニ・サビダニ類が多発した園は、今年も発生する可能性が高いため防除を検討する。 ○台風通過後は、6時間（遅くとも10時間）以内に散水（1.5t/10a）し、潮風害対策を行う。 ○ハダニ・サビダニ類は発生初期の防除に努め、同一薬剤の使用は年1回を原則とする。サビダニ類は下欄から使用回数制限に注意して選択する。 ○夏秋梢は、その長さや角度、硬化程度によって、臨機応変にその取扱方法を変える。 ○貯蔵病害の防除は、収穫2週間前を目安とする。 ○収穫後は、通気性のよい倉庫で予措を必ず行う。 ○収穫後は樹勢回復のため、尿素500倍希釈液を新梢硬化までに3回以上葉面散布する。
2	上中下	発芽期	施肥（春肥）	ミカンハダニ【萌芽前】 かいよう病【萌芽期】 そうか病	スプレーオイル（マシン油97%）200倍 ムッシュボルドーDF 500倍 加用クレフノン 200倍 デランフロアブル 1,000倍	
3	上中下	開花期	枯枝除去（4月～9月）	【開花直前】 かいよう病	コサイド3000 2,000倍 加用クレフノン 200倍	
4	上中下	落弁期	粗摘果（横径23 ^{mm} 未満） 施肥（夏肥）	【開花期】 訪花害虫・ミカンキジラミ 【落弁期】 そうか病・黒点病・灰色かび病 【梅雨前】 かいよう病・黒点病 そうか病・黒点病・赤衣病	アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍 ストロビードライフロアブル 2,000倍	
5	上中下	生理落果期	粗摘果（横径23 ^{mm} 未満） 施肥（夏肥）	カイガラムシ類 ゴマダラカミキリ	コサイド3000 2,000倍 加用クレフノン 200倍 マネジドライフロアブル 4,000倍 加用 ジマンダイセン水和剤 600倍 トランスフォームフロアブル 2,000倍	
6	上中下	果実肥大期	施肥（夏肥）	ミカンハダニ 黒点病・赤衣病・黄斑病 ゴマダラカミキリ	スプレーオイル（マシン油97%）200倍 ジマンダイセン水和剤 600倍 モスピラン顆粒水溶剤（主幹・株元散布） 400倍 ジマンダイセン水和剤 600倍	
7	上中下	台風対策	仕上げ摘果（横径52 ^{mm} 未満）	黒点病・赤衣病・黄斑病 【台風前】 かいよう病 コナカイガラムシ類・ミカンバエ	コサイド3000 2,000倍 加用クレフノン 200倍 アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍	
8	上中下	着色期	仕上げ摘果（横径52 ^{mm} 未満）	黒点病 サビダニ類・ミカンハダニ	ジマンダイセン水和剤（収穫90日前まで：4回以内） 600倍 メビウスフロアブル 2,000倍	
9	上中下	着色期	鳥獣害対策	黒点病 ミカンハダニ	ストロビードライフロアブル 2,000倍 ダニゲッターフロアブル 2,000倍	
10	上中下	夏秋梢整理	貯蔵病害		ベルコートフロアブル 2,000倍 加用ベンレート水和剤 4,000倍	
11	上中下	果実成熟期	収穫 施肥（礼肥）			

奄美つのがやきのポテンシャルを発揮して新たな産地育成に努めよう！

基幹防除…発生を抑えるため、できるだけ防除に努めましょう。
補完防除…発生状況をみながら、必要に応じて防除しましょう。

令和6年11月28日現在の登録内容を記載

＜施肥基準：10a当たり施肥量＞

時期・種類	収量	10a当たり収量			
		1,000kg	1,500kg	2,000kg	2,500kg
12月下旬	奄美果樹配合（8-8-5） または 蜜のめぐみ2号（8-3-3）	60 kg (3袋)	80 kg (4袋)	100 kg (5袋)	120 kg (6袋)
2月下旬		60 kg (3袋)	80 kg (4袋)	100 kg (5袋)	120 kg (6袋)
6月上旬		30 kg (1.5袋)	40 kg (2袋)	50 kg (2.5袋)	60 kg (3袋)

＜農業散布時の留意点＞

- 風向きや風速に注意し、対象作物以外への飛散防止に努める。（飛散の恐れがある近隣栽培者には連絡をとって実施する）
- 規定の範囲内で樹冠に対して十分量の薬液散布を心がける。（特に、殺虫剤・殺ダニ剤は散布ムラがないように丁寧に）

＜ミカンハモグリガの防除薬剤＞

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	備考
アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫14日前	3回	ネコノイト（アブラムシ○）
ダントツ水溶剤	2,000倍	収穫前日	3回	ネコノイト（アブラムシ○）
モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫14日前	3回	ネコノイト（アブラムシ○）
カスケード乳剤	2,000倍	収穫7日前	2回	IGR
スピノエースフロアブル	4,000倍	収穫7日前	2回	SE/シシ
エクシレルSE	5,000倍	収穫前日	3回	ジアミド
フェニックス顆粒水和剤	4,000倍	収穫前日	2回	ジアミド

＜ミカンキジラミの防除薬剤＞ カンキツグリーンング病対策

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	備考
アドマイヤー顆粒水和剤	5,000倍	収穫14日前	3回	ネコノイト

★園地周辺のゲッキツは伐採する。

★発生の疑われる樹があった場合は、関係機関に連絡する。

＜サビダニ類の防除薬剤＞

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	備考
コテツフロアブル	4,000倍	収穫前日	2回	リュウキュウミカンサビダニ可
ダニエモンフロアブル	4,000倍	収穫7日前	1回	ハダニと同時防除可
カネマイトフロアブル	1,000倍	収穫7日前	1回	ハダニと同時防除可

県園芸振興協議会大島支部

連絡先

大島支庁農林水産部農政普及課：0997-57-7274

同 瀬戸内町駐在：0997-72-0184

同 喜界町駐在：0997-65-3019